

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:お仏壇の香炉の灰は定期的に取り換えるものですか？ A:時々、お手入れするといいですよ。

毎朝毎晩のお勤めは、仏事の基本です。お線香をたいてのお勤めを繰り返すことによって、どうしても香炉の灰が盛り上がり参ります。そのままお線香をたき続けると、いつかは香炉の灰が山盛りになり、あふれ返る現象が起きます。そこまで毎日欠かさず、お勤めしないとお出でないこの度の質問ですが、時々のお勤めでもいつかそういう事態に直面するのでお答えします。お寺でも毎朝毎晩、お勤めをするのでうす高く香炉の灰が盛り上がりまます。そんな時は、専用のスプーンなどで香炉の灰をくみ取っています。すぐに一杯になるものではないので、一度くみ取るとまた長期間対応することができます。お仏壇屋さんに行くと、「灰ならし」と言って、部分的に盛り上がった灰を平らにならす道具があります。この道具には、ギザギザの溝が掘ってあり、ならすと灰全体が水の流れのような模様ができます。同じ用途で、小型のがんじきのような道具もあります。また「燃えかす取り」と言って、不完全燃焼したお線香やお香を濾す穴あきお玉のような道具もあります。この道具に灰をくぐらせると、サラサラの灰に生まれ変わりますよ。時々、お手入れしてみるといいと思いますよ。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！
 正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。
 問:5月末に亡くなったと伝えられる右の人物は誰でしょう？
 下の3つの中から選びなさい。



- ① 寺内貴太郎
- ② 年寄せた貴景勝
- ③ 小林亜星

答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

fax の受付は、朝8時～夜9時までとさせていただきます。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
 ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

① 先月の答え、③のドラゴン桜2でした。桜木先生、格好いいですね。

***** 坊守の月イチフログ *****

小説 8050

林真理子さんの今話題の小説、「8050」を読みました。

我が子がこのまま引きこもりを続けると、親が80歳、50歳の息子が何もできずに親の年金を当てにする生活になっちゃうかもよ。

「うちの子は頭のいい良い子だったのに、どうしてこうなっちゃったの?」

「どこにでもいるわよ、うちの子はハズレだったのよ、ハズレ。」

誰が悪いわけでもなかったのに、突然降りかかってきた息子の不登校からの引きこもり。病院に行ったり、学校に相談したりと親は大慌て。そのうち引きこもりは当たり前になってはや7年。同級生は医学生になったり一流企業に内定している。見ないふりをして引きこもりの息子の世話をするのが日常化している夫婦。

「そっとしておきましょうよ」という母親に対して「いや、今ダメなら将来もダメだ」と一念発起する父親。「家族ってホントに大事にしなきゃいけないの?必要がなくなればそれでおしまいでもいいんじゃないの?」とは娘。

いじめ、不登校、引きこもり、年金、そして家族。今時の解決しきれない社会問題が物語のベースになっています。テーマは重いですが、面白いのでおすすめします。

